

店舗の売上向上を実現するタブレットPOSレジ「ユビレジ」

株式会社 ユビレジ 代表取締役 木戸 啓太

ユビレジとは

(株)ユビレジの創業者の木戸が学生時代アルバイトしていたBARでは、紙の伝票、電卓、FAXを使ったアナログな業務会計管理を行っておりました。

2度手間、3度手間が当たり前だったサービス業の事務作業を何とかしたいと誕生したのが、店舗の売上向上を目的としたタブレットPOSレジのiPad POSレジ『ユビレジ』です。

ユビレジは直感的でわかりやすいインターフェースとなっており、新しいスタッフや年配の従業員など誰でも簡単に操作できます。レジ機能を覚えるまでに時間がかからないため、指導する側の時間や手間も省くことができ、人件費削減にもつながります。

店舗の売上データはクラウド上に保管され、セキュリティでしっかり守られます。クラウドに保管されたデータはどこからでもアクセスすることができ、店舗にいらなくてもリアルタイムで売上管理などが行えます。

また、従来のレガシーPOSレジと比較しても安価に導入が可能な為、価格面からPOSレジの導入をあきらめていた店舗にも導入しやすいサービスです。

ユビレジ



ユビレジの基本構成 (iPadとコンパクトレジスター)

ユビレジの基本機能

- ①レジ機能
基本的な会計機能、商品の一括登録・レシートのカスタマイズ、周辺機器との連携
- ②売上管理・分析
リアルタイム売上管理、日別・月別・商品別・部門別・客層別などの分析
- ③複数店舗管理
各店舗の売上自動集計、売上報告の自動配信(メール)、店舗毎の売上・会計数・会計単価・客数などの一覧表示

ユビレジの目指すこと

人と人が対面するビジネスにおいて、すべてはお客様の「注文」から始まります。

本来は一つ一つのアクションがドミノ倒しのようにつながっているはずなのに「注文」は「注文」、「レジ」は「レジ」、「集計」は「集計」と、それぞれのアクションを別々のタイミングで行なわなければなりません。それを、その人のひと押しで、ドミノ倒しのように面倒なタスクが実行されれば、人が本来やるべきサービスに集中できる。ユビレジはそのためのインフラをつくっています。



その人のひと押しで
ドミノ倒しのように
面倒なタスクが実行されれば
人が本来やるべき
サービスに集中できる。
ユビレジはそのための
インフラをつくっています。

ユビレジの目指すこと (イメージ)

お店に、新しいにぎわいを

飲食店が「飲食店である価値」とは何かを考えたときに、お店は単に食事をする場所としてではなく、「その場の空気」や「内装を含めた店全体の雰囲気」や「人が集まって会話をする」など、複合的な要素で構成されており、いわば「楽しさ」や「にぎわい」に価値があると考えました。

ただ、昨今の飲食店を取り巻く状況は、時短営業を強いられたり、人員不足で満足するサービスを提供できなかつたり、コロナ前よりも店舗運営の難易度が高くなっています。

そこで、ユビレジのQRオーダーを活用することで接触頻度を抑えつつ、来店客同士のにぎわいも、来店客と従業員のにぎわいも実現できると考えています。

「ユビレジQRオーダー&決済」は、「ユビレジハンディ」と組み合わせて使う非対面・非接触型の店内モバイルオーダー・決済システムです。このシステムにより、お客様は専用アプリのインストール等は必要なく、お店で用意されたQRコードを読み取るだけで、ご自身のスマホから好きなタイミングで、注文やお会計をすることができます。

また、店舗スタッフはオーダー受けや会計業務の頻度が下がるため、店舗業務の効率化を実現でき、決済後のレシートデータはメール送信できるので、会計後もレシート受取りのためにスタッフを呼ぶ手間もなく、不必要な接触を避け、スムーズに退店できます。

ユビレジ ハンディ

iPhoneやiPod touchをオーダーリング端末（ハンディ）にするサービス。ユビレジと連携した注文管理、キッチン伝票の印刷、空席管理、会計機能等により業務を効率化。



ユビレジ ハンディ

ユビレジ QRオーダー&決済

ユビレジハンディと組み合わせて使う店内モバイルオーダー・決済システム。お客様は自分のスマートフォンを使い、好きなタイミングで注文と会計ができ、店舗スタッフはオーダー受けや会計業務の頻度を削減できるため、顧客満足度の向上と業務効率化を同時に実現。



「ユビレジ QR オーダー」、サービス開始から1年で累計100万オーダーを突破

「ユビレジ QR オーダー」は、2020年6月からサービスの提供を開始しましたが、その後たった1年で累計100万オーダーを突破しました。

また、本サービスの利用率データから、導入店舗の7割以上で注文時の接触頻度を軽減できたことが分かりました。

さらに、1年分の会計データの統計からは、本サービスを利用した際の客単価が、通常注文時よりも平均19%アップしていることも判明しました。この結果からは、不必要な接触を避け安心して注文できる点や、自分のスマホで気軽に注文できる利便性、注文のタイミングをお客様自身が選べる顧客体験の向上によって、通常よりも追加注文が1~2品多くなる傾向があることが推定されます。

コロナ禍での新しい日常では、飲食店をはじめとするあらゆる店舗において新しいオペレーションが必要とされています。

サービス産業のデジタル化を推進している当社は、店舗での新しいオーダー体験を実現する「ユビレジ QR オーダー」による新しい顧客体験を通じて、「お店に、新しいにぎわいを」提供していきたいと考えています。

QRオーダーのお客様事例をご紹介します

煮込みや みよし (株式会社インスマート)

<https://ubiregi.jp/case/articles/in-smart>

◆ユビレジ QRオーダー & 決済の導入の決め手は？

ここ数年ずっと人手不足で困っていたので、最初は卓上に設置するセルフオーダーシステムを検討していましたが、初期費用が非常に高く、メンテナンスも大変そうだったので導入を断念しました。

ただ、人手不足に伴うオーダー業務を効率化したいという思いはずっとあり、飲み放題対応が可能となったタイミングで導入を決めました。

◆ご利用されるお客様の反応は？

初めは「面倒だな～」と嫌がるお客様もいましたが、サービスを導入した背景を丁寧にご説明すると、みなさんご理解頂き、今では「ユビレジ QRオーダー & 決済」利用率はほぼ100%となっております。

<サービスを導入した背景>

- ・人手不足の為、オーダー業務を効率化し、料理やドリンクの提供スピードを早くしたい。
- ・混雑時はスタッフが捕まらず「注文したくてもなかなか出来なかった」というお客様の声が多かったため、そのストレスを無くしたい。

◆人手不足解消、業務効率化に繋がり、接客に注力出来る様になった。

例えば「煮込みや みよし」は、これまで7人のアルバイトスタッフが必要だと思っていましたが、人手不足で5人しかシフトに入れなかった時も、7人の時と同じようにお店を運営することができました。仮に時給1,000円で5時間稼働したとすると、アルバイト2名の人件費は1日10,000円。これと月額サービス利用料を比較すると、非常に費用対効果の高いサービスであると経営陣も納得しています。

また、オーダー業務が効率化されたことでスタッフに時間の余裕ができ、お客様を気にかける時間が増えました。スタッフ数が足りない、どうしても目先の業務をこなすのに精一杯になり、必要最低限の接客しかできなくなってしまいます。

満足な接客ができず、お客様をがっかりさせてしまうことは絶対に避けたいので、「ユビレジ QRオーダー & 決済」導入によって、人手不足でも理想の店舗運営が継続できているのが一番の効果だと感じています。

◆ユビレジ ハンディと自動連携

例えば、品切れになった商品を「ユビレジ ハンディ」側で登録すると、その情報は「ユビレジ QRオーダー & 決済」に同期され、お客様がオーダーする際に見るメニュー画面にも「Sold Out」の表示がされます。これまでのようにお客様に口頭でお伝えしなくとも、自動的に品切れ商品をお知らせすることができるので、とても便利です。

また飲み放題についても、「ユビレジ ハンディ」側でメニューを切り替えればお客様のオーダー画面も自動で飲み放題メニューに切り替わるので、以前のように専用のメニューを取りに行く手間がなくなりました。

また、「ユビレジ QRオーダー & 決済」は、これまでのような紙のメニュー表と違って、加筆や修正がウェブ上から簡単にできるのも便利です。



使いたいシステムと柔軟に連携できる豊富なシステム連携

ユビレジはキャッシュレス決済対応や店舗で利用する基幹システム、会計システムなど様々なシステムと連携が可能です(システム連携についてはこちらをご参照ください <https://ubiregi.jp/functions>)。

また、当社は筑波銀行と連携し、地域のお客様のDXを支援しています。当社のシステムにご関心のある方は、お近くの筑波銀行営業店にお声かけ下さい。